

第八十二回
帝國議會
貴族院

農業保險法中改正法律案特別委員會會議事速記録第五號

昭和十八年二月十八日(木曜日)午前十時
十分開會

○委員長(伯爵黒木三次君) デハ是ヨリ委員會ヲ開會致シマス、政府當局ヨリ木炭需給調節特別會計法中改正法律案ノ提案ノ理由ヲ御説明願ヒマス

○國務大臣(井野碩哉君) 木炭需給調節特別會計法中改正法律案ノ提出ノ理由ニ付キマシテ御説明申上ゲマス、現下ニ於ケル薪ノ需給ノ實狀ニ鑑ミマシテ、木炭ト同様ニ薪ニ付キマシテモ、政府ニ於キマシテ之ガ買入、賣渡又ハ貯藏ヲ行ヒマシテ、其ノ需給ノ調節ヲ圖ルコトト致シマシタノデアリマスルガ、之ニ關スル歲入歳出ハ、之ヲ木炭ノ需給調節ニ關スル歲入歳出ト共ニ一括經理スルノヲ適當ト認メマシタノデ、本法

律案ヲ提出致シタ次第デアリマス、何卒速ニ御審議ノ上御可決アラムコトヲ希望申上ゲマス

○委員長(伯爵黒木三次君) 大體ノコトニ付キマシテドウゾ大臣ニ御質問デモアレバ此ノ際御願ヒ致シタイト思ヒマス

○柴田兵一(郎君) 本年度ノ薪炭ノ需給狀況ニ付テ承リタイト思ヒマス

○政府委員(井出正孝君) 薪炭ノ需給狀況ノ本年度ノ狀況ハ、木炭ニ付キマシテ先ニ申上ゲタイト存ジマス、木炭ニ付キマシテハ昭和十七年度ニ於キマシテハ、一應ノ生産ノ努力目標ヲ八億五千萬貫餘ニ置イタノデゴザイマスガ、實際其ノ後ノ生産實情カラ見マシテ、八億一千萬貫程度ヲ各道府縣ニ生産ノ割當ヲ致シマシテ、其ノ生産ノ實現ヲ

圖ッテ參ッタノデアリマスガ、其ノ後努力ノ關係、運搬ノ關係、其ノ他ノ關係カラ致シマシテ、生産ガ思フヤウニ參ラナイ實情ニアリマシタノデアリマス、ソレガ爲ニ十七年度ノ上半期ニ於キマシテハ、非常ニ此ノ計畫目標ニ對シマシテ、實際ノ成績ガ餘リ思ハシクアリマセヌノデ、大體七十「パーセント」程度ニ止ッテ居ッタノデアリマスルガ、九月以降木炭ノ生産ニ付キマシテ特ニ之ヲ強力ニ實行致シマスルコトト致シマシテ、官民ヲ通ジマシテノ木炭ノ生産増強期間ヲ設定致シマシテ、生産ニ努力致シテ參リマシタ、之ニ對シテ各般ノ助成施設等ヲモ強化致シマシテ實行致シマシタ結果、爾來順次累月生産ノ成績ヲ舉ゲテ參リマシテ、最近ニ至リマシテハ大體生産目標ニ對シマシテ約八十「パーセント」ニ近イ成績ヲ舉ゲツツアリマス、本年度全體ヲ通ジマシテハ恐ラク八十「パーセント」ニハ達シ得ル見込ト考ヘテ居リマス、此ノ生産ヲ以テマシテ主要消費府縣ニ對シマシテハ、木炭需給調節特別會計ニ於キマシテ生産地カラノ移出木炭ノ全部ヲ買取りマシテ、持ツテ參リマシテ配給致シテ居ルノデアリマス、政府供出ノ成績モ各府縣ノ生産ノ實績ガ、只今申上ゲマシタヤウナ事情デアリマシタノニ影響セラレマシテ、當初計畫致シマシタ政府ノ買入目標ニ對シマシテハ、豫定通りノ集荷ガ困難デアリマシタガ、是亦木炭ノ生産供出増強期間ノ設定以後、順次政府供出ノ分量ガ増加致シテ參リマシタ、大體豫定量ノ七割程度迄上昇シテ參ッテ居ル譯デアリマ

シテ、之ヲ以テマシテ此ノ冬ノ木炭ノ需要最盛期ニ於キマスル消費地ニ對スル配給ヲ實施シテ參リマシタ、之ニ若干滿洲カラノ木炭ノ供給ガ加リマシタノデ、之ヲ加ヘマシテ配給ヲ實施致シツ、アリマスルノデ、先ヅ主要消費地方ニ於キマスル木炭ニ付キマシテノ配給ハ、順調ニ經過致シテ居ルヤウナ狀態デアリマス、ソレカラ薪ニ付キマシテハ、從來比較的此ノ配給ニ付キマシテハ、政府ニ於テ直接操作ヲ多ク加ヘテ居リマセヌノデ、自然ノ集荷配給ニ委ネテ居ッタノデアリマスガ、昨午ノ上半期以來石炭其ノ他ノ燃料ノ供給ガ減ジテ參リマスニ從ヒマシテ、薪ノ需給關係ガ非常ニ逼迫シテ參リマシテ、家庭用ノ方面ニ對スル出廻リガ自然ニ、殊ニ窮迫ヲ告ゲテ參リマシタノデ、此ノ家庭用方面ニ對シマスル薪ノ配給ニ調節ヲ加ヘル必要ガアルト云フ風ニ考ヘマシテ、東京、大阪、愛知、神奈川、埼玉ト云フヤウナ、薪ニ付キマシテ自縣内ニ於テ需給ノ困難ナル消費府縣ニ對シマシテハ、生産縣ヨリノ薪ノ出荷ノ割當ヲ致シマシテ、之ノ督勵ヲ實施シテ參ッタノデアリマス、其ノ結果昨年ノ暮以來、各消費地ニ對シマスル薪ノ入荷モ稍順調ニ參ッタノデアリマシテ、是亦大體ニ於テ薪ノ家庭用方面ノ配給ニ付キマシテハ、此ノ需要最盛期ニ於キマシテモ大體ニ於テ良好ニ經過ヲシテ參ッテ居ルノデアリマス、唯今後益、石炭方面ノ燃料ノ消費規正ガ更ニ一段ト、家庭方面ニ對シテモ加ル次第デアリマスルノデ、薪ニ付キマシテモ木炭ニ準ジマシテ、是等ノ消費府縣ニ

對シマスル集荷配給ヲ、一年間ノ見透シヲ付ケマシテ、之ヲ政府ニ於テ生産地ニ割當テテ生産ヲシ、之ノ集荷ヲ致シマシテ配給致スト云フコトニ致シテ參ラナケレバナナイヤウナ情勢ニナッテ居ル、斯様ナ次第デアリマス

○柴田兵一(郎君) 只今薪炭ノ需給狀況ニ付キマシテ色々御説明ヲ戴キマシテ有難ウゴザイマシタ、承リマス、滿洲カラ木炭ガ供給サレテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ數量ハドノ位ニナッテ居リマスカ、御差支ガアレバ速記ヲ止メテ伺ヒタイト思ヒマス

○委員長(伯爵黒木三次君) 速記ヲ止メテ午前十一時二十一分速記中止

午前十一時一分速記開始

○委員長(伯爵黒木三次君) 速記ヲ始メテ

○石黒忠篤君 段々御質問、御答辯デ私ノ伺ヒタイコトモ承ツタノデアリマスガ、炭ノ問題デ農林省ノ御依頼ニ依リマシテ、數週間東北ノ各地ヲ歩イテ見マシテノ經驗ノ上カラ、特ニ先程來屢、御觸レニナリマシタ輸送ノ問題ガ一番大事ダト思フノデアリマス、林産物ノ輸送ハ木材ニ致シマシテモ、木炭ニ致シマシテモ、其ノ所在ガ誠ニ僻遠ノ所ニ段々ト追込マレテ參ルト云フヤウナ關係上、此ノ點ガ非常ニ大事ダト思フノデアリマス、道路ニ關シマスル費用ヲ、豫算ニ於キマシテハ十分ニ御取リニナッテハドウカ、此ノ點ヲ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(井野碩哉君) 只今石黒サンカラ御述ノ通り木炭ニシマシテモ、木材ニシ

マシテモ、山元カラ貨車マデ運ブ輸送關係ガ一番今日デハ困ッテ居ルノデアリマシテ、此ノ點ニ付テ特別ナ「トラック」其ノ他ノ配車ニ努力ハ致シテ居リマスガ、燃料關係其ノ他カラ相當ノ規正ヲ受ケテ居ル、又段々奥山ニ入ッテ參リマス、御話ノ通り林道其ノ他ノ道ノ問題ガ一番大切デアリマス、此ノ爲ニ本年林道ノ費用ハ相當増額致シマシタガ、マダ十分ト參ッテ居リマセス、此ノ點ニ付テハ農林省トシマシテモ、モウ一層努力スル積リデ居リマスケレドモ、唯本年ノ林道ノ内容ニ付キマシテハ山林局長カラ申上ゲタイト思ヒマス

○石黒忠篤君 内容ノ詳細ヲ只今伺ッテ居ル時間モドウカト思ヒマスシ、是ハ出來ルダケ一ツ十分ニ御要求ニナラヌト云フト、事實實際ノ用ニ木材木炭ヲ充テルコトガ出來ナイノデアリマスカラ、十分ニ御取リ願ハナケリヤナラス、斯ウ考ヘマス、大臣ガ「トラック」ニ言及ナサツタノデアリマスガ、「トラック」ノ如キハ次ニ私ガ伺ヒタイト思ッテ居タモノデアリマシテ、木炭需給特別會計法中改正法律案ノ理由書ノ中ニモ今回薪ヲ入レル、薪ノ買入賣渡等ニ關スル一切ノ歳出歳入ト云フコトニナツテ居ルカラ、輸送ニ關スル經費モ無論此ノ特別會計法ヲ以テ支辨ガ出來ルコトト思フノデアリマス、從來モソレニ依ッテ多少ノ御準備ハナサツテ居ルヤウニ拜見シテ居ルノデアリマスガ、此ノ「トラック」ニ付キマシテ特ニ私ハ、多數ノ「トラック」ヲ木炭需給調節特別會計ガ準備ニナルト云フコトガ出來ルコトデアリ、且爲サナケレバイカスコトデアリカト思フ、薪炭ノ輸送ニ對シマシテ「トラック」ノ準備ヲナサレテ道路ガ出來レバ、極ク急峻ナ峠ニ對

シテ相當ノ「ガソリン」ノ供給ガアレバ、他ハオ手ノ物デ木炭「ガス・トラック」ヲ運行ガ出來ルノデ、之ヲオヤリニナルコトガ出來ルノデアリマスカラ、要ハ道ヲ付ケラレルコトト、「トラック」ヲ出來ルダケ特別會計ニ於テ準備ヲナサレマシテ、以テ奥山ニ滯留ガナイヤウニ……、今日ハ實ヲ言フト奥山ニ滯留ガアルト云フダケデアリマセス、ソレ程デナイ所ニ滯留ガアル、馬力ナドガ他ノ方ノ輸送ニ高イ價銀ヲ拂ハレル、木炭ト云フモノハ運賃ガ少イ爲ニ其ノ儘ニ殘サレテ居ルト云フ事情ガ方々ニアル、サウ云フコトヲ此ノ特別會計ノ「トラック」ニ於テ輸送サレルト云フコトガ最モ大事ダト思フ、況ヤ此ノ炭ノ不足ト云フコトハ消費都會ニ於キマシテハ、私ハ非常ニ恐シク思ヒマスノハ、是ガ不足ノ時ニナリマスト云フト、何カラ焚イテ飯ヲ炊カクチャナラナイ、斯ウ云フコトニナリマスノデ、燃料ヲ他ニ求メタルコトガ出來ナイ消費大都市ノ多數消費會ハ、事ニ依ルト云フト木ノ屑ヲ壊シテ炊クト云ツタヤウナコトヲヤルノデス、貸家ノ羽目ヲ外シテ炊クト云フヤウナコトヲヤル、斯ウ云フコトハ破壊行爲ヲ外ニ直チニ表明スルノデアリマシテ、非常ナ社會不安ヲ起ス因ニナルト思ヒマス、斯様ナコトガ先ヅ大シテ無クシテ本年經過シタト云フコトハ、私ハ非常ナ仕合セダツタト思フノデアリマスガ、家庭用ノ木炭ノ一箇月カラ半箇月ニ互ル遅レタ配給、斯ウ云フコトハ非常ニ恐シイコトデアリマス、全期ヲ通ジテノ需要量ノ供給ガ大體差支ナイト致シマシテモ、季節ニ先立ッテ配給ガサレテナイト云フトサウ云フコトガ起リ易イノデアリマス、サウ云フヤウナ點カラ申シマシテモ、需給特別會計

ニ於テ十分ノ輸送手段ヲ準備サレテ置クト云フコトガ何ヨリ大事ダト思フ、況ヤ先程土岐委員カラ御話ノアリマシタ空襲ノ場合ナドヲ考ヘマス、此ノ特別會計ニ「トラック」ヲ十分ニ準備サレルト云フコトハ、同時ニ農林省ノ他ノ食糧管理特別會計等トモ流用ヲサレル時期ガナケレバ仕合セデアリマスガ、アツク場合ニハ非常ニ役ニ立ツト思フノデアリマス、商工大臣ハ新聞デ拜見シマス云フト、過日五ツノ重點ヲ置ク産業ニ關スル工場ニ對シテハ、特ニ輸送手段トシテ「トラック」ヲ特別ニ配給スルト云フコトモ考ヘテ宜シイト云ツタヤウナコトヲ言ハレタヤウニ新聞デ拜見スルノデアリマス、農林方面ニ於キマシテハ、ソレ等ノ産業ニ劣ラザル國民ノ日常生活ノ安定ノ爲ノ食糧、燃料等ノ配給ノ重大責任ヲ負ウテ居ラレルノデアリマスカラ、農林關係ノ需給調節特別會計ニ於キマシテ、ソレ等ニ遺憾ノナイヤウナ敏速ナ輸送ノ出來ル設備ヲ、是非完備ヲシテ戴キタイト云フ切ナ希望ヲ持ッテ居リマス、出來レバ木炭ニ關シマシテハ、京坂ノ木炭ハ隨分水路ヲ通ッテ南九州カラ送ラレルノガ多イノデアリマス、機帆船組合等ト特ニ話ヲ付ケテ御實行ニナツテ居ルヤウニ思フノデアリマス、サウ云フ水運ノ施設モ進ンデハ御持チニナル位ノ抱負ヲ以テ、此ノ點ニ重點ヲ置イテ御考ニナラムコトヲ私ハ切ニ希望スルノデアリマス、之ニ對シマシテ大臣ノ御考ヲ伺ヒタイ

○國務大臣(井野碩哉君) 只今ノ御意見ハ誠ニ御尤モデアリマシテ、農林省トシマシテモ特別會計ヲ運用シマシテ、炭薪ニ對スル供給ノ確保ヲ圖リマス爲ニハ、矢張り自ラ「トラック」其ノ他輸送機關ヲ持チマスコトガ、一番其ノ仕事ヲ完成シマス上ニ大切ダト思ッテ居リマス、今日デモ特別會計デ、數ハハッキリ覺エテ居リマセヌガ、二三十臺ハ持ッテ居ルト思ヒマスガ、併シコンナ數デハ迎モ全體ノモノヲ圓滿ニ動カシテ參リマスニハ足りナイノデアリマス、今後商工省トモ能ク連絡ヲ取リマシテ、出來ルダケ此ノ數量ヲ殖シタイト考ヘテ居リマス、唯「トラック」ガ今日製造ノ能力ノ上ニ於キマシテ思フヤウニ參リマセヌカラ、農林省トシマシテモ十分ナモノヲ持ツト云フ譯ニハ參リマセヌカモ知レマセヌガ、兎モ角出來ルダケノ限度ニ於テノ努力ハ致シタイト考ヘテ居リマス、又會社等ニ對シマシテハ、農林物資ノ關係ニ於キマシテハ相當ニ其ノ供給ヲ確保シマスコトガ大切デゴザイマスノデ、現ニ日本木材會社等ニ對シマシテハ我克ヲ持タセマシテ、サウシテ滿洲或ハ其ノ他ノ地カラ木材ノ輸送ニ充テルト云フ計畫モ致シテ居リマス、是モ著々進ンデ居リマス、サウ云ツタヤウナ所謂統制サレテ居リマスモノハ、是ハ或程度矢張り統制ニ服サネバナラス點モゴザイマスガ、サウデナイモノデ都合ノ付クモノハ出來ルダケ其ノ會社等ニ持タセルト云フ風ニ致シテ居リマス、殊ニ特別會計ニ於キマシテハ國ノ一ツノ仕事デゴザイマスカラ、統制外ニ考ヘ得ラレル點モ多クゴザイマスノデ、サウ云ツタ點ハ十分ニ一ツ考慮シテ參リタイ、斯ウ存ジテ居リマス

○石黒忠篤君 次ニ御伺ヲ致シタイノハ、先程農林大臣モ仰セニナリマシタヤウニ、森林土地ト云フモノガ結局鐵デアルトカ、石炭デアルトカ、有ラヌル物ノ不足ノ帳尻ヲ合セル最後ノ大キナ負擔ヲ背負ッテ居ル、此

ノ戦争ガ長期戦アリ、マダノ續カナケレバナラス、現在迄モ能ク賄ッテ參ッテ來テ居ルト尙カニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、ソレハ國家ガ永年森林ニ關シマスル確乎タル政策ヲ立テ、天然ト共ニ國土ノ上ニ是ダケノ貯蓄ヲシテ參ッテ來タモノガアツカラダト思フ、ソレヲ今斯ウ云フ時ノ爲ニ貯蓄ヲシテ來タノデアルト云フコトカラ、大量ニ急遽消費ヲシテ居ル、此ノ跡地ノ整理造林ト云フコトニ一年モ遅レルコトナク著手ヲシテ行カナケレバ、將來ニ對シテ非常ニ濟マスコトダト思フノデアリマス、是等ニ對シマスル農林當局ノ豫算ハ十分ナ費用ヲ要求セラレ、之ニ關シマスル資材勞力等ニ付テ特別ノ取扱ガアツテ然ルベキダト思ヒマスガ、ソレ等ハ相當御準備ニナッテ居ルノデアリマセウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○國務大臣(井野碩哉君) 只今御話ノ通り木材其ノ他ノ需要増加ニ伴ヒマシテ伐採モ殖エテ參リマスルカラ、其ノ跡地造林ト云フ問題ハ一番大キナ問題デアリマス、從ッテ農林省トシマシテモ、昨年ノ議會デ御協賛ヲ經マシテ所謂二百萬町歩造林計畫ガ一應十箇年、當初五箇年計畫デ出來上ッテ居リマス、是ノ實行ヲ致シテ參リマスレバ、跡地造林ダケハ是ハモウ完全ニ行クヤウニナッテ居リマス、更ニ跡地造林以外ノ造林迄出來ルヤウナ計畫ニナッテ居リマスガ、其ノ數量ハ簡單ニ山林局長カラ……

○政府委員(井出正孝君) 此ノ事變以來今御話ノアリマシタヤウニ、非常ニ伐採ヲ増加致シテ參リマスノニ對應シマス跡地造林ノ計畫ニ付キマシテハ、只今大臣カラノ御話ノアリマシタヤウニ、十六年度以來十箇

年計畫デ從來ノ造林助成計畫ト合セマシテ、約二百萬町歩ノ場所ニ對スル造林ヲ手當致シテ參ルコトニナッテ、十八年度ハ其ノ第三箇年目ニ入ルコトニナッテ居ル譯デアリマシテ、ソレデ大體之ニ付キマシテハ、此ノ計畫ヲ致シマシタ昭和十五年ノ當時ニ於キマシテ、年々ノ昔カラノ伐採地ニ對スル植栽未済地、所謂無立木地ガ約百四十四萬町歩程ゴザイマスノデアリマス、ソレカラ其ノ當時ノ狀況カラ大體判斷致シマシテ、今後十箇年間下ノ位薪炭及用材ノ爲ニ伐採ガサレルカト云フコトヲ見積リマシタモノガ大體二百七十三萬町歩程、言ヒ換ヘマシレバ一年間ニ薪炭林、用材林ヲ通ジマシテ二十七萬町歩餘ガ伐採サレルコト云フ見透シヲ以チマシテ、此ノ全部ニ對シマスル手當ヲ考ヘテ參ッテ居ルノデアリマス、唯之ヲ寄セマシタ約四百萬町歩餘ノ中デモ、皆人工造林ヲ致シ得ナイ、又致ス必要ノナイ場所ガアリマス、例ヘバ萌芽更新デ參リマスルモノ、或ハ自然ニ自力造林ヲ致サナケレバナラナイ、自力造林ト申シマスノハ、是ハ造林者ガ國家ノ助成ナシニ當然造林ヲヤッテ參リ得ルト云フ風ナモノヲ見込ミマシテ、ソレカラ既定ノ造林助成計畫ガ約七十萬町歩程アリマスノデ、之ヲ差引キマシテ約百三十二萬町歩ヲ造林ノ對象ニ致シマシテ、ソレデ從來ノ造林計畫ノ七十萬町歩餘ト合セテ、二百二萬町歩程ヲ十箇年間デヤッテ參ルト云フ計畫デ行ッテ居ルノデアリマス、此ノ新タニ加ヘマシタ百三十二萬町歩ニ對スル助成計畫ハ之ヲ年度割ニ致シマシテ、殊ニ苗木ノ生産準備ヲ致シマス爲ニ最初ノ二箇年ハ極ク造林ノ分量ハ少イノデアリマシテ、本格的ニ造林ノ面積ガ殖エマスルノハ明十

八年度カラデアル譯デアリマス、明十八年度ニ於キマスル此ノ計畫ニ基ク助成ノ金額ヲ、四百三十八萬五千町歩餘ト云フコトニ只今豫算上豫定セラレテ居ルノデアリマス、此ノ外ニ從來ノ造林助成ガ或程度加リマシタモノヲ以テ進ンデ參ル積リデアリマス、其ノ外ニ本年新タニ團體等ニ依リマスル造林ニ對シテ相當強力ノ助成ヲ致シテ參リタイ、斯様ニ考ヘマシテ、是ガ本年ハ約五千町歩ヲ對象ニ致シマシテ、之ニ對スル助成ヲ新タニ實行シテ參ルト云フコトノ計畫デ十八年度ハ進ムコトニナッテ居ルノデアリマ

○石黒忠篤君 モウ一伺ヒタイト思ヒマス、炭燒ノ際ニ空シク發散ヲシテシマフ熱ノ量ト云フモノハ非常ニ大キイト思ヒマス、之ノ利用ト云フコトハ非常ニムヅカシイコトデアリマセウト思ヒマスガ、林業試驗場其ノ他ニ於テ何カ御研究ニナッテ居リマスカ、ドウデアリマスカ、是ハ將來何等カ御考ヲ願フベキ非常ニ大キナモノダラウト思ヒマス

○政府委員(井出正孝君) 製炭ノ方法或ハ炭竈ノ設備ニ對シマスル改良問題ニ付キマシテハ、林業試驗場並ニ營林局ガ色々組合セマシテ、只今各種ノ研究ヲ致シテ居ルノデアリマス、最近ノ木炭ノ生産狀況カラ致シマスレバ、出來ルダケ最少ノ木材ト申シマスカ、資材ヲ以チマシテ出來ルダケ多數ノ木炭ヲ造リ上ゲ、而モソレヲ造ルニ付キマシテモ、順次熟練ノ勞務者ガ得ニクイ場合ニナリマスルノデ、比較の未熟練ノ勞務者デアッテモ簡單ニ成績ヲ擧ゲ得ルト云フ、大體此ノ二點ニ著目致シマシテ、炭竈及製炭技術ノ改良ト云フコトニ向ッテ居ルノデ

アリマス、御承承ノヤウニ以前ハソレト反對ニ、假ニ原料タル原木ヲ餘計ニ使ツテモ立派ナ良イ炭ヲ造ル、良イ炭ト云フノハ炭自體トシテ堅イ炭、或ハ便ヒ好イ炭ヲ造ルト云フコトニ行ッタノデアリマスガ、今ノ時代ニ於テハ資材及ビ勞力ノ關係カラ申シテ、只今申シタヤウナ方面ニ改良目標ヲ置イテ進ンデ居ル、此ノ見地カラ見マシテ、最近東京營林局ノ管内ノ富岡營林署ニ於キマシテ、林業試驗場ト一緒ニ色々研究實驗ヲ致シマシタ結果、石川ト申シマス技師ノ考案ニ係リマス炭竈ガ、非常ニ此ノ目標カラ見マシテ效率的ナモノデアルコトガ漸次分ッテ參リマシタ、ソレニ付キマシテ之ヲ特ニ農林一號電ト云フヤウナ名稱ヲ附シマシテ、各府縣各方面ニ對シマスル普及ヲ圖ルト云フコトニ致シテ參ル積リデアリマス、同様ナ研究ヲ更ニ續イテ目下モ致シマシテ、更ニ各地方々々ノ土地及ビ其處カラ出マス原木ノ性質ニ併セテ、更ニ斯様ナ方向ニ向ッテノ效率的ナモノヲ研究致シテ居ルノデアリマス、ソレト同時ニ又林業試驗場ト致シマシテハ、此ノ製炭ノ際ニ空シク煙其ノ他ニナッテ逸出致シテ居リマスル部分ヲ導キ取リマシテ、「タール」、木「タール」、其ノ他ノ利用及ビソレニ基ク製品ノ集約的利用ト云フコトニ同時ニ向ッテ居リマス、是モ併セテ此ノ製炭技術ノ一部門ト致シマシテ只今鋭意實驗ヲ致シ、又研究ヲ致シ、相當ノ成果ヲ擧ゲマシテ、順次ソレヲ各方面ノ利用ニ供スルヤウニ致シテ居リマス

○石黒忠篤君 私ノ伺フ要點ハ、製炭法ノ改良トカ、或ハ煙ノ利用ト云フヤウナコトハ能クオヤリニナッテ居ルヤウデアリマスガ、發散ヲスル熱ノ利用ト云フコトヲ十分ニ御

研究願ヒタイ、斯ウ云フ趣旨デゴザイマス
カラ其ノコトヲ願フテ置キマス

○宮田光雄君 製炭トカ、製材ト云フヤウ
ナコトヲ獎勵スル爲ニ何カ特別ニ、施設ト
言ヒマスカ、獎勵方法ハ講ジテイラッシヤ
ルノデスカ、チヨットソレヲ伺ヒマス

○國務大臣(井野碩哉君) 昨年ノ春以來先
程申シタ通り、木炭ノ生産ガ非常ニ減退シ
テ參リマシタノデ、政府トシテモ昨年ノ九
月以來木炭ニ付キマシテハ増産強調期間ヲ
設ケ、其ノ期間内ニ於テ或ハ食糧其ノ他資
材ノ増配、又「ゴム」足袋等ノ増配等モ致シ、
又勞力關係カラ見マシテモ、製炭手帳ヲ持
タセマシテサウシテ其ノ手帳ヲ持ッテ居ル者
ノ勞力ヲ確保スル、又價格問題ニ付キマシ
テモ、集荷ノ爲ノ獎勵金ヲ出ストカ、又價
格ヲナニシマスカ、色々ノ施設ヲ致シテ居
リマス、其ノ具體的ナ細カイ内容ニナリマシ
タラ此處ニ書イタモノガゴザイマスガ……

○宮田光雄君 概要デ宜シウゴザイマスガ
○國務大臣(井野碩哉君) マアサウ云フヤ
ウナ獎勵ヲヤッテ居リマス、ソレカラ木材ニ
付キマシテモ、木材増強週間ノ期間ヲ設ケ
マシテ、政府トシテハ矢張り食糧ノ、必需
品ノ増配、價格問題、木炭獎勵金、或ハ租
稅關係等ノ色々ノ點ニ付テノ積極的施設ヲ
致シテ居リマス

○宮田光雄君 ソレデ此ノ製炭者ニ對シテ
何カ獎勵ト云フ意味デヤアリマスマイケレ
ドモ、彼等ノ立場ヲ考慮シテ、特ニマア百
竈ナラ百竈ト假ニ數ラスルト、其ノ中デ供
出サセルノハ幾ラ、後其ノ本人ノ自由販賣
ト云フカ、自由處置ヲ認メテ、ソレヲモ一ツ
ノ獎勵方法ニ使ッテ居ラレルノデスカ、ソレ
ハ全然モウ製炭シタモノハ本人ノ必要ナラ、

家庭用ニ必要ナラ殘ストシテ、全部供出サ
セテ居ルノデスカ、其處ハドウ云フ手加減
ガアルノデスカ

○國務大臣(井野碩哉君) 供出割當數量ヲ
決メマシテ、ソレサヘ出セバ、後ハ自分デ
使フコトモ認メテ居リマス

○宮田光雄君 ソレハ自家用トシテ認メル
ノデスカ、販賣モ認メテ居ルノデスカ
○國務大臣(井野碩哉君) 自分ガ使ヒマス
物ハ自家用トシテ認メテ居リマス、唯ソレ
ヲ賣ルト云フ場合ニハ必ズ統制ニ從ハセテ
居ルノデスカ

○宮田光雄君 統制ニ……、ソレデハモウ
單ニ自家用ダケデゴザイマスネ
○國務大臣(井野碩哉君) 左様デゴザイマ
ス

○宮田光雄君 製炭シタモノヲ賣ル場合ニ
於テハ農村デ、私細カイコトハ忘レテシマッ
タノデスカ、ヤ、ソコシイ組織ニナッテ居ル
ノデヤアリマセスデスカ、ソレハ假ニ斯ウ
云フ一ツノ村デ製炭ヲスルト、其ノ製炭シ
タモノハ供出量ヲ決メテ集メテ、ソレヲ又
或組合ニ託シテ、更ニ此ノ村デ必要ノモノ
ハソレカラモウ一遍割戻シテ來ルト云フヤ
ウナコトハ、唯帳簿上ヤルノデアッテ、實際
行爲トシテハ物ヲ動かサズニ、サウ云フ供
出ニ應ズルト云フヤウナ手配ヲシテ居ルノ
デスカ、ソレハ私ノ言フコトハ分リマシタ
デスカ、質問ノ意味ハ……

○國務大臣(井野碩哉君) 分リマシタ、大
體今製炭事業ハ企業製炭ト副業製炭ト二ツ
アリマス、副業製炭ハ産業組合ヲ通ジマシ
テ、製炭夫ガ燒キマシタ炭ヲ販賣サセルト
云フコトニナッテ居リマス、其ノ産業組合ヲ
通ズルノニ今御話ノヤウニ、村ノ産業組合

ニマア一應持ッテ來テ、其ノ産業組合ガ他
賣ルト、斯ウ云フコトニナッテ居リマスガ、
村デ使フヤウハ必ズシモ組合ノ店先迄持ッテ
來テ、又元ヘ戻スト云フコトナシニヤリ得
ル途ヲ拓イテ居リマス

○宮田光雄君 拓イテ居リマスノデスカ
○國務大臣(井野碩哉君) エ、
○宮田光雄君 私ハソレデ宜シウゴザイマ
ス
○松本學君 速記ヲチヨット止メテ戴キマ
ス

○委員長(伯爵黒木三三次君) 速記ヲ止メテ
(速記中止)
○委員長(伯爵黒木三三次君) 速記ヲ始メテ
○子爵松平保男君 先程木ヲ澤山伐ルコト
ニ付テ、跡地ノコトニ付テハ、マア將來ニ
於テ心配ナイヤウナ御計畫デアルヤウニ伺ッ
タノデスカ、即チ二百萬町歩ト云フ計畫ヲ
御立デニナッテ居ル、是ハナンデゴザイマセ
ウカ、官有林モ、ソレカラ民有林モ含シ
ノコトダラウト思フノデアリマスガ、若シ
官有林民有林モ含シデ居ルトスレバ、其
ノ中ノ割合ト云フモノガ、ドノ位ノモノデ
アルカ、其ノ大キナ部分ハ矢張り官有林デ
アルト云フヤウナコトデアルガ、ソレカラ
シテ、若シ是ガ相當ニ民有林ト云フモノガ
之ニ含マレテ居ルトスルト、果シテ民有林
ノ持主ガ今日ノ狀況ニ於テ、更ニ植林ヲシ
テ、サウシテ進シテ行クト云フヤウナ狀況
ニナッテ居ルダラウカ、此ノ點ガ自分トシテ
少シドウカト思フヤウナ氣ガスルノデアリ
マス、即チ元ハ日本ノ植林ト云フモノハ、
隨分昔カラ各個人ガ其ノ山ヲ持ッテ、サウシ
テ子孫ノ爲ニ財産ヲ遺ス、確實ナル財産、
即チ植林ヲスレバ直グ眼ノ前ニハ現レナイ

ケレドモ、併シ三十年、五十年ト云フ後ニ
於テ、子孫ノ爲ニ山ヲ持ッテ居ルト云フコト
ハ、非常ニ確實ナル財産デアルト云フヤウ
ナ意味ニ於キマシテ、隨分相當多イ少イニ
拘ラズ、植林ト云フモノヲシタ、ソレガ今
日矢張り相當ヤッテ參ッテ居ルノデヤナイカ
ト思ハレルノデアリマスガ、併シ今日此ノ
跡地ノ植林ヲスル爲ニハ、ナカ／＼是ハ大
キナ會社デアルトカ何ト云フヤウナ所デ
アレバ兎モ角モ、ソレデナイ個人ノ山トシ
テハ、此ノ費用ガ非常ニ掛ル、又費用ガ掛
ルバカリデナク、費用ガ掛ルト云フノハ何
カト云フト、一番人夫ノ問題デ、此ノ山ニ
働ク者ヲ集メルト云フコトモ隨分困難デア
ル、又集メテ非常ニ高イ賃銀ヲ出サナケレ
バ來ナイト云フヤウナコトデ、ナカ／＼植
林ト云フコトハ、個人トシテハ、餘程資産
ノアル者デナケレバ、困難ナ事業ニナッテ
居ル、又ヤッテ見テモ將來ノ財産トシテ遺ス
ヤウニヤリ遂ゲレバ宜イガ、サウデナケレ
バナカ／＼ヤリ切レナイ、斯ウ云フ狀態デ
ハナイカト思フノデスカ、サウスルト話ガ元
ニ戻リマスガ、此ノ跡地ノ植林ト云フコト
ガドウデアルカ、之ニ對シテハ今ノ森林
組合ニ對シテ補償ト云フヤウナ獎勵金ノヤ
ウナモノモアリマスケレドモ、是ハモウ
ホシノ僅カノモノデアッテ、到底其ノ位ノ
補償金ヤ何カデハヤッテ行ケナイ、斯ウ云フ
狀況ダラウト思フノデアリマスガ、サウ云
フ點ニ付テ伺ヒタイト思フノデアリマス、
是ハ大臣ノ御答辯デナクデモ、局長ノ御答
辯デモ結構デス

○政府委員(井出正孝君) 只今御尋ノ此ノ
造林ノ手當ノ問題ニ付キマシテ、先程十年
度デ大體二百萬歩ト云フコトヲ申上ゲマシ

ケレドモ、併シ三十年、五十年ト云フ後ニ
於テ、子孫ノ爲ニ山ヲ持ッテ居ルト云フコト
ハ、非常ニ確實ナル財産デアルト云フヤウ
ナ意味ニ於キマシテ、隨分相當多イ少イニ
拘ラズ、植林ト云フモノヲシタ、ソレガ今
日矢張り相當ヤッテ參ッテ居ルノデヤナイカ
ト思ハレルノデアリマスガ、併シ今日此ノ
跡地ノ植林ヲスル爲ニハ、ナカ／＼是ハ大
キナ會社デアルトカ何ト云フヤウナ所デ
アレバ兎モ角モ、ソレデナイ個人ノ山トシ
テハ、此ノ費用ガ非常ニ掛ル、又費用ガ掛
ルバカリデナク、費用ガ掛ルト云フノハ何
カト云フト、一番人夫ノ問題デ、此ノ山ニ
働ク者ヲ集メルト云フコトモ隨分困難デア
ル、又集メテ非常ニ高イ賃銀ヲ出サナケレ
バ來ナイト云フヤウナコトデ、ナカ／＼植
林ト云フコトハ、個人トシテハ、餘程資産
ノアル者デナケレバ、困難ナ事業ニナッテ
居ル、又ヤッテ見テモ將來ノ財産トシテ遺ス
ヤウニヤリ遂ゲレバ宜イガ、サウデナケレ
バナカ／＼ヤリ切レナイ、斯ウ云フ狀態デ
ハナイカト思フノデスカ、サウスルト話ガ元
ニ戻リマスガ、此ノ跡地ノ植林ト云フコト
ガドウデアルカ、之ニ對シテハ今ノ森林
組合ニ對シテ補償ト云フヤウナ獎勵金ノヤ
ウナモノモアリマスケレドモ、是ハモウ
ホシノ僅カノモノデアッテ、到底其ノ位ノ
補償金ヤ何カデハヤッテ行ケナイ、斯ウ云フ
狀況ダラウト思フノデアリマスガ、サウ云
フ點ニ付テ伺ヒタイト思フノデアリマス、
是ハ大臣ノ御答辯デナクデモ、局長ノ御答
辯デモ結構デス

○政府委員(井出正孝君) 只今御尋ノ此ノ
造林ノ手當ノ問題ニ付キマシテ、先程十年
度デ大體二百萬歩ト云フコトヲ申上ゲマシ

タノハ、是ハ全部民有林ニ對シマスル造林
上ノ施設ニナッテ居ル譯デアリマス、之ニ對
シマシテ國ガ大體造林費ノ三分ノ一ノ補助
ヲ致シマシテ、造林ヲセシメテ參リマスル
計畫モ當局ハ持ッテ居リマス、其ノ外ニ國有
林ニ付キマシテハ、一定ノ施業案ニ基キマ
シテ、毎年伐採シマシタ跡ノ造林並ニ臨時
ニ事變以來伐採致シテアリマスル場所ノ跡
ノ造林ハ、其ノ都度國有林ニ關シマスル管
理、經營費ノ豫算ノ要求ヲ經マシテ實行致
シテ居ルノデアリマス、ソレカラ民有林方
面ノ造林ノ計畫ニ對スル實績ガ如何ト云フ
點ニ付キマシテハ只今迄ノ處、色々努力等
ノ點ニ付テ可ナリ困難ガアルヤウニ見受ケ
マスルガ、各府縣トモ豫メ農林省ト打合セ
ヲシマシテ、引受ケマシタ造林面積ヲ以テ
マシテ、其ノ引受ヲ殆ド豫定通りニ實行致
シテ居リマシテ、十六年度以來計畫通りニ
致シテ居リマス、成績ハ多少經費ノ點ニ於
キマシテ、實行ニ對シマシテ少シ面積の
足りナイ點ガアリマスルガ、大體ニ於テ計
畫通り實行シテ居リマス、十八年度以降ニ
於キマシテモ、此ノ計畫セラレマシタ面積
ノ造林ハ、是ノ確保ヲ大體圖ッテ行キ得ル
目下ノ見込デゴザイマス

○子爵松平保男君 只今御話ノ各府縣ニ對
シテヤラシテ居ル造林ノ計畫ガ、大體相當
ニ出テ居ルト云フヤウナ話デスガ、是ハ各
府縣ニ御命ジニナッテ、サウシテ矢張り民間
ニヤラシテ、私有林ニ對シテヤラシテ居ル
ト云フ意味デアリマスノデスカ、詰リ或ハ
是ハ森林組合ト言ヒマスカ、山林組合ト言
ヒマスカ、サウ云フモノノ組合ニ依ッテヤ
ラサレルト云フヤウナ譯デアリマスカ

其ノ年度々々ノ造林ノ計畫ヲ立テサセマシ
テ、其ノ立テマシタ計畫ニ基キマシテ、府
縣ト致シマシテハ更ニ各個人ニ對シマシテ
其ノ造林ノ助成ヲ致シ、或ハ森林組合ニ對
シテ造林ノ助成ヲ致シ、或ハ町村ニ對シテ
造林ノ助成ヲ致シ、ソレノノ森林關係
者或ハ團體ヲシテ造林ヲ實行サレテ居ルノ
デアリマス

○子爵松平保男君 其ノ點ヲモウ少シ詳シ
ク伺ヒタイノデスガ、此ノ所謂森林組合ニ
入ッテ居ル民間ノ者ハ、何ガシカ入ッテ居レ
バ其處ニ矢張り助成金ヲ戴クノト共ニ、所
謂跡地ニ造林ヲスルト云フ義務ヲ持ッテ居ル
譯ニナルノデスカ

○政府委員(井出正孝君) 此ノ今申上ゲマ
シタノハ、助成ヲ以テ造林ヲ致サシテ參リ
マスルコトデアリマシテ、是ト跡地造林ノ
義務トハ必ズシモ一緒ニナッテ居ラナイ積リ
デ居リマス、跡地造林義務ノ問題ハ、是ハ
御話ノヤウニ森林組合ガ出來マシテ、順次
今後施業案ヲ決メテ參リマスレバ、今度ハ
其ノ施業案ニ基キマシテ、何處々々ノ場所
ハ造林ヲ確保セネバナラスト云フコトガ出
テ參リマス、ソレハ森林法ニ基キ造林上ノ
義務ニナルノデアリマス、今ヤッテ居リマス
ル此ノ造林計畫ハ、助成方面カラ或程年ノ
補助金ヲ、府縣ヲ通ジマシテ、造林者ニ與ヘマ
シテ、造林ヲ勧誘致シマシテ、其處ニ造林
ヲ實現サシテ居ルノデアリマシテ、其ノ計
畫ヲ實行致シマスニ付キマシテ、只今申シ
マシタヤウニ、大體、計畫ニ近イ造林ノ助
成ノ成績ガ上ッテ居ル、斯ウ云フコトニナッ
テ居ルノデアリマス

○政府委員(井出正孝君) 各府縣ニ大體ノ
此ノ助成ト、ソレカラシテ又跡地ノ造林ト云

フモノノ關係ハ、必ズシモソレハ義務關係
デハナイ、斯ウ云フヤウナ御話ノヤウニ伺
フノデスカ、サウシマススト云フト、果シテ
跡地ノ造林ト云フモノハ出來ルカドウカト
云フコトハ、チヨットソレデハ分ラナイヤ
ウニ思ハレルノデスカ……

○政府委員(井出正孝君) 其ノ點ハ毎年府
縣ガ造林ノ勧誘ヲ致シマシテ、各造林ヲシ
ナケレバナラナイ森林ニ對シマシテハ、
其ノ森林組合或ハ町村或ハ部落ト云フ風
ナモノヲ通ジマシテ、何處々々ノ山ハ今年
造林ヲスルヤウニスレバ國カラ是ダケ
助成金ガ行クト云フコトデ、其處ヲ造林ヲ
刺戟ヲ致シマススト共ニ、又事實左様ナ地方
ニ於キマシテハ、關係者ハ國カラ補助金ガ
行キマスルノデ、喜ンデ其處ノ場所ニ造
林ヲシテ參ルト云フコトニナルガ、一方ニ
於テハ造林者ノ熱意ガ基礎ニナッテ參リマス
譯デアリマス、其ノ熱意ガ基礎ニ致シマシ
テ、ソレニ何ガシノ助成金ヲ國カラ與ヘマ
シテ、サウシテ、其ノ造林ヲ實行サシテ居
ルノデゴザイマス、是ハ現實ニ各府縣ガ
又町村毎ニヤル、更ニ町村カラ關係ノ團體
或ハ大面積ノ森林所有者直接ニ、ソレノ
勸誘獎勵ヲ致シマシテ實行シテ居ルノデア
リマス、其ノ結果ト致シマシテ事實只今迄
ノ處、豫定ノ、年々立テマシタ造林豫定面
積ノ造林ノ實現ヲ見テ居ルヤウナ狀態デゴ
ザイマス

○子爵松平保男君 只今ノ御答辯ニ於テ段
段分ッテハ參リマシタガ、併シ十分ニ理解モ
致シマセヌガ、他ノ機會ニ於テ伺フコトニ致
シテ置キマスガ、大體御伺ヒシタイコトハ、
是ハ自分ニ關スルコトデアアルノデスカ、自分
ノ經驗ニ於テハドウモナカ……今迄持ッテ

居ッタ山ノ木ヲ伐ッテ、其ノ跡ヘ持ッテ行ッテ
今迄ノ前ノヤウナ計畫デハ到底出來ナイ、
ソレデアリマスルカラシテ、ドウモ斯ウ云
フヤウナコトデハ一般ノ民間ノ者ガ、段々
サウ云フ山ヲ從來持ッテ居ッテ者ガ、ソレヲ
引繼イデ持ッテ行ッテ跡地ニ植エ立テテ行ク
ト云フコトガ、困難ナ狀況ニナルノデヤナ
イカ知ラス、更ニ進ンデハ新タニ山ヲ買ッ
テ、植林ヲシテ行クト云フヤナ事業ヲヤル者
ハ恐ラクナイデヤナイカト云フヤウナ心配ガ
アルモノデアリマスルカラ、ソレデ今ノ御
計畫ガ果シテ民間ノ森林所有者ヲ對象トシ
テ行クカドウカト云フコトノ懸念ヲ持チマ
シテ、伺ッタ譯デアリマス、是デ……

○委員長(伯爵黒木三次君) 如何デゴザイ
マセウ、午前ハ此ノ程度デ終リマシテ、午
後ハ、既ニ農業保險法中改正法律案ト農業
保險ノ保險料國庫負擔金等ノ交付及分擔等
ニ關スル法律案、ソレカラ食糧管理特別會
計法中改正法律案、此ノ三案ニ付キマシテ
モ既ニ質疑ハナクナッテ居リマスルノデ、之
ノ討論ニ入ッテ表決致シタイト思ヒマスカ
ラ、左様御了承願ヒマス、午後ハ一時半ニ
開會致シタイト思ヒマス、後ハ木炭ニ付テ
ノ御質疑ガ殘ッテ居レバソレヲ續行致シタ
イト思ヒマス、ソレデハ之ヲ以テ午前ハ休
憩致シマス

○委員長(伯爵黒木三次君) 如何デゴザイ
マセウ、午前ハ此ノ程度デ終リマシテ、午
後ハ、既ニ農業保險法中改正法律案ト農業
保險ノ保險料國庫負擔金等ノ交付及分擔等
ニ關スル法律案、ソレカラ食糧管理特別會
計法中改正法律案、此ノ三案ニ付キマシテ
モ既ニ質疑ハナクナッテ居リマスルノデ、之
ノ討論ニ入ッテ表決致シタイト思ヒマスカ
ラ、左様御了承願ヒマス、午後ハ一時半ニ
開會致シタイト思ヒマス、後ハ木炭ニ付テ
ノ御質疑ガ殘ッテ居レバソレヲ續行致シタ
イト思ヒマス、ソレデハ之ヲ以テ午前ハ休
憩致シマス

午後一時四十三分開會
○委員長(伯爵黒木三次君) ソレデハ是ヨ
リ午前ニ引續キマシテ會議ヲ開會致シマス、
既ニ農業保險法中改正法律案外二件ハ質疑
ヲ終ッテ居リマスノデ、此ノ際討論ニ入り
表決ニ移リタイト思ヒマスガ、御異議ゴザ

イマスマイカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵黒木三三三) ソレデハ農業保險法中改正法律案、農業保險ノ保險料國庫負擔金等ノ交付及分擔等ニ關スル法律案、食糧管理特別會計法中改正法律案、右三案ノ討論ニ移リマス

○子爵土岐章君 私ハ此ノ三案ニ對シテ贊成ヲスル者デアリマス、而シテ政府ハ速ニ實施セラレムコトヲ希望スルノデアリマス、尙此ノ實施ニ當リマシテハ、今日農民ガ其ノ法ニ狎レテ、精神的ニ之ニ頼ルト云フ風ナコトガナイヤウニスルコトガ最も必要ト考ヘルノデアリマシテ、政府ニ於テハ所謂農士道ト云フ方面ニ對シテモ十分ニ意ヲ用ヒラレテ、今日ノ時局柄食糧増産ニ對シテ、農民ガ邁進スルヤウニセラレムコトヲ望ムノデアリマス

○男爵三須精一君 私ハ本法案ニ付テ贊意ヲ表スル者デアリマス、戰時下食糧ノ増産ハ目下急務中ノ急務デアリマス、之ガ再生產確保ト農家生活ノ安定ヲナス爲ニ此ノ度改正法律案ガ出タノデアリマスガ、是ハ全ク農家ノ要望デアリマシテ、更ニ一層ノ生産増加ニ拍車ヲ加ヘルコトト思ヒマス、而シテ私ハ更ニ之ガ完璧徹底ヲ期スル爲ニ、將來保險料ヲ現在ヨリモ更ニ引上ヲ要望スル者デアリマス、且水稻ノ冷害ニ對シテハ共濟制度ニ依ツテ居リマスガ、將來ハ之ヲ是非保險制度ニ訂正スベキダト思フノデアリマス、尙現在トシテ種々ナ事務上ノ關係上共濟制度トナツテ居リマスガ、之ヲ若シ共濟制度トスルナラバ、更ニ水稻保險ト同額ニ將來御考慮ヲ御願ヒシタイ希望ヲ持ッテ居リマス、以上希望ヲ述べマシテ本案ニ贊

意ヲ表スル者デアリマス

○柴田兵一君 私モ本三案ニ對シテ贊成ノ意ヲ表シタイト思ヒマス、此ノ度ノ農業保險法改正ノ要點ハ、保險金額ノ増額ガ中心トナツテ色々ノ政策ガ企圖サレテ居リマスガ、此ノ點ニ付テハ我々ガ多年要望シタ所デアリマシテ、農林當局ノ御努力ニ對シテハ深く敬意ヲ表スル次第デアリマスガ、唯冷害共濟制度ノ整備ニ關シテハ、尙不十分微温の思ハレルノデアリマスカラ、今後此ノ方面ニ一段ノ御考慮ヲ下サイマシテ本制度所期ノ目的ヲ達成セシメルヤウ希望シテ止マナイ次第デアリマス

〔總員舉手〕

○委員長(伯爵黒木三三三) 滿場、仍テ本案ハ可決サレマシタ、ソレデハ引續キマシテ木炭需給調節特別會計法中改正法律案ノ質疑ニ移リタイト存ジマス

○子爵本多忠晃君 立木價格ハ製材ノ價格カラ逆算サレルノデ、從來ノ價格カラ見ルト隨分安クナツテ居リマス、ソレデ其ノ賣上價格モ約八割ハ公債ヲ以テ渡サレル、又其ノ半ハ税金デ取ラレルト云フコトニナリマス、森林所有者ノ收入ト云フモノハ從來ニ比シテ非常ニ減收シテ居リマス、ソレデ造林ノ助成金モ僅少デアリシ、又立木ノ價格モ或一定ノ價格ニ付テハ、以下ノ場合ニ於テハ助成金ヲ戴クノデアリマスガ、ソレト云フテモマダ十分デアリマセス、相當ソレデ果シテ此ノ造林ト云フコトガ……、伐採後ノ造林ト云フコトガ出來ルノデアリ

マセウカ、ドウデアリマセウカ、ソレデ農林當局ト致シマシテハ、或ハ此ノ立木ノ價格ノ計算方法ヲ改正スルトカ、或ハ造林助成金ノ方ヲ増額スルトカ、或ハ立木ノ價格ノ補助金ノ引上ト云フヤウナコトニ對シテ、何カ御考慮ガアルカナイカ、伺ヒタイト思ヒマス、ソレカラ次ハ從來ノ素材製造業者ガ、其ノ立木ヲ伐採スルニ當リマシテハ其ノ木材ノ用途ヲ考慮シテ之ヲ伐採スル、然ルニ統制會社トナツテカラ、此ノ伐採スルニ當ッテハ唯増産、出セバ宜イト云フコトダケデアッテ、其ノ立木ノ利用價值ト云フコトヲ考ヘナイデ、之ヲ伐採スル爲ニ森林所有者ノ不利益トナルバカリデナク、其ノ立木ノ價格ヲ減少シテ「ロス」ガ非常ニ出ルト云フコトガアルサウデアリマスガ、之ニ對スル何カ御考慮ガアリマスカドウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイト存ジマス

○政府委員(井出正孝君) 御答ヘ致シマス、此ノ現在ノ立木價格ノ決メ方ノ仕組ハ、今御話ノゴザイマスヤウニ、立木カラ生産サレマシタ木材ノ市場價格、是ハ御案内ノヤウニ公定價格ガアリマシテ、市場ノ價格ガアリマス、ソレカラ逆算シマシテ、詰リ運搬費、伐木造材費ト云フヤウナ費用ヲ逆算致シマシテ、最後ニ殘ル價值ガ立木價格ト云フコトニナツテ、立木ノ價格ハ大體取引上決メラレテ居ルヤウナ譯デアリマス、從ヒマシテ御話ノヤウニ、非常ニ途中ノ運搬經費等ノ掛リマシタ場所ニ於キマシテハ、立木ノ價格ガ極メテ低廉ナモノニナル、極端ナ場合ニハ立木價格ガ零ニナル、更ニ立木價格ニ何ガシカノ却テ損失ヲセバ計算ガ立タスト云フ風ナ立木モ出デ参リマス譯デアリマス、併シ一方又木材ノ需要ノ増加ニ

伴ヒマシテ、斯様ニシテ立木價格ガ或程度引合ヒマスル所ダケニ、木材ノ生産ノ資源ヲ求メテ居ッタノデハ、一定ノ所要量ガ満足出來マセヌノデ、ドンノ所謂奥地ノ不採算ノ林分ニアリマスル立木ヲ、木材生産ニ充テテ参ラナケレバナラヌコトニナツテ参リマシタ、斯様ナ場合ニ於キマシテ、立木價格ヲ或程度ノ價格ニ引合ヘルト云フコトノ爲ニ、今回斯様ナ不採算林分ニ於キマスル立木ヲ、或程度ノ價格ニ合ヒマスルダケノ價格差ヲ補助金ニ依ツテ考慮スルト云フコトニ致シマシテ、是ハ大體造林地ト天然造林地ニ依ツテ、多少取扱フ違ヘテ参リタイ積リデ居リマスルガ、少クトモ造林地ニ於キマシテハ、過去ニ於ケル造林ノ實費ヲ賄ヒ得ル程度、又天然林ニ付キマシテハ、今後造林致シマスルニ差當ッテ必要ナル造林費ハ少クトモ償ヒ得ル程度ニ、價格差ノ補助ヲシテ参リタイ、斯様ニ考ヘマシテ、大體此ノ出石一石ニ付キマシテ平均一圓程度ノ今後助成金ヲ組ミマシテ、ソレヲ十八年度ニ於テ約一千萬石、十七年度ニ於テ五十萬石ト云フ程度、斯様ナ奥地ノ不採算林分ノ立木ヲ、價格差補助ニ依ツテ生産ニ當テ得ルヤウニ致シマシテ、ソレニ依ツテ是等ノ場所ニ付テノ伐採セラレタ跡ニハ、森林所有者ガ少クトモ後ノ造林ヲ出來得ル程度ノ其處ニ價值ヲ得セシムルヤウニ措置ヲ致シタ譯デアリマス、爾餘ノ場所ハ、ソレヨリハ何ガシカ餘計ニ價格ノ餘裕ガアリマスル譯デアリマスルノデ、私共ノ見ル所ト致シマシテハ、森林所有者トシマシテ立木ヲ處分シ、伐採シマシテ得マシタ代金ノ中ト云フコトハ、計算上、經理上ニ於テハ餘

裕ガアルト云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマ
ス、其ノ上ニ午前中ニモ申上ゲマシタヤウ
ニ大體ノ場所ニ付キマシテハ、國庫カラ造
材費ノ三分ノ一程度ノ補助ヲ之ニ與ヘマシ
テ、跡地ノ造林ヲ可能ナラシメルヤウニ手
配ヲ致シテ居ルノデアリマス、唯全般的ニ
現在ノ森林家ニ取リマシテ、斯様ナ立木ノ
價格ノ建テ方ガ果シテ今後造林ノ熱意ヲ發
揮サセル爲ニ十分デアアルカドウカ、遺憾
ガナイカドウカト云フ點ニ付キマシテハ、
出來マスルナラバ、此ノ立木價格ヲモウ
少シ安定シ、保護サレタモノニ致スヤウ
ナ價格ノ決メ方、ソレガ同時ニ、ソレカラ
出マス木材ノ市場價格ト云フモノヲ、能ク
釣合ヲ取ルコトガ出來マスル算定方法等ガ
アレバ、非常ニ之ニ越シタコトガナイノ
デアリマシテ、之ニ付テノ研究ハ致シテ
居ルノデアリマスルガ、何セ御承知ノ
ヤウニ我が國ノ森林ハ、非常ニ地勢カラ申
シマシテモ複雑デアリ、北カラ南ニ互ル
氣候ノ非常ニ違フ所ニ分布セラレテアル、
又搬出等ノ關係、條件モ非常ニ違フテ居ル、
且造林地デアリマスルノト、造林地デアリ
天然林ト云フモノニ依ッテノ扱ヒガ極メテ
違ヒ、又場所ニ依リマシテハ、造林地ト天
然林トガ極メテ錯綜シテ居ルト云フ風ナコ
トモアリ、又樹ノ種類樹ノ年齢、又大キサ、
形狀ト云フ風ナモノノ工合ニ依リマシテ、
ソレノ森林ニ於キマスル立木ノ價格ニ事
實非常ニ違ヒガ出テ參リ得ルモノデアリマ
スノデ、之ニ付テ森林ノ値段カラ決メテ、
而モ木材ノ價格ヲ同ジヤウナ規格ノモノハ
同ジヤウナ價格ニ落チルヤウナ、所謂木材
價格ニ付テ全國的ニ釣合ノ取レタ價格ガ、
同時ニソコニ出來マスルト云フ風ナコトニ

ナル繋ギ合セ等ガ非常ニムヅカシイノデア
リマシテ、此ノ兩方面カラ見マシテ可ナリ
困難ナ問題デアリマスルガ、今後此ノ點ハ
相當研究スル必要ノアル問題トシテ考究ハ
致シテ居リマスガ、併シ此ノ木材カラノ市
場運算ニ依リマスル立木價格ト云フモノノ
決メ方ニ、根本的ナ行キ方ヲ果シテ全部修
正シテ、離レテ、立木價格ガ決メ得ルカド
ウカニ付テハ、正直ノ所私共トシテ今自信
ガナイノデアリマス、デアリマスルカラ只
今斯様ナ價格ノ建前カラ來テ、而モ森林所
有者ガ今後ニ於キマシテ森林ヲ心カラ造成
シテ參ルニ足リルダケノソコニ經濟上ノ裕
リ、剩餘ヲ殘スト云フコトニ付テノ方策ヲ
講ジテ參ルノガ、當面トシテ最モ實效ヲ舉
グ得ベキコトト考ヘテ居リマス、左様ナ意
味ニ於キマシテ只今申上ゲマシタ今回奥地
林分ニ對シマスル開發ヲ機會ニ、此ノ方面
ニ付テノ造林費ノ部分ニ屬スル點ダケヲ少
クトモ最少限度補償シテ參ルト云フ助成金
ヲ考慮シテ實行シテ行ク譯デアリマス、唯
是ハ今後ノ實行ノ模様ニ依リマシテ、今考
ヘテ居リマスル程度ノ經費、十分デアアルカ
ドウカハ今後ノ實行ニ俟チマシテ、ソレデ
ハマダ造林ノ將來ノ確保上非常ニ不安デア
ルト云フ風ナ事態ヲ見マスル上ハ、之ニ付
テ更ニ考慮ヲ拂ッテ參ラナケレバナナイ
ト、斯様ニ考ヘテ居ル譯デアリマス、ソレ
カラ御質疑ノ第二點ノ、最近ニ至リマシテ
木材ノ各府縣ニ統制ノ仕組ガ備リマシタ結
果、合同セラレマシタ木材會社ガ素材ヲ生
致シマス場合ニ於テ、從來ノ馴レタ素材生
產業者ノ如ク立木ノコナシ方ガ、其ノ立木
ニ最モ適シタ最高度ノ效率ヲ發揮スルヤウ
ナ伐木造材ノ仕方ガシテナイ爲ニ、非常ニ

利用上無駄ガアリハセナイカト云フ點ノ御
話ト思ヒマスルガ、此ノ點ニ付キマシテハ
府縣ノ木材會社モ立木ノ手當ヲ自ラ致シ、
之ヲ伐木造材シマシテ木材トシテ所定ノ利
用ヲサセテ居ルノデアリマスルガ、其ノ外
ニ是等ノ木材會社ガマダ勿々ノ際デアッテ
不馴レデアアル、從來ノ馴レタ業者等ヲ十分
ニ包攝致シマシテ仕事ヲ致シマスノデアリ
マスルガ、マダ出來マシテ一年或ハ半年位
ノ經過的ノ今日ニ於キマシテハ、是等ノ取
扱何分ニモマダ馴レナイト云フ事態ガア
ルノデアリマシテ、サウ云フ關係カラ同時
ニ從來ノ山ヲ扱ヒマシテ其處カラ丸太ヲ生
產致シマシテ或ハ枕木ニ向ケ、或ハ枕木ニ
向ケ、或ハ各種ノ一般製材ノ原木ニ向ケマ
スルト云フ風ナコトヲ致シテ居リマシタ所
謂素材ノ生産業ヲヤッテ居タ人達ニハ、出
來ルダケ各府縣ノ中核體ノ實力等ヲ睨ミ合
セニシマシテ、是等ノ業者ヲ活用シテ參ル
ヤウニ、是等ニ對シテモ木材ノ從來ノ業務
ヲ行ッテ、ソレ等ノ企業能力ヲ發揮セシメ
テ、適材適所ノ木材ノ生産ヲ擧ゲテ參ルヤ
ウニ指導致シテ居ルノデアリマスルノデ、
是等ノ從來ノ素材生産ヲヤッテ居タ人達ハ
矢張り從來ノ如キ經營ノ力量ヲ十分ニ使ヒ
マシテ、ソレノ山ニ即シタ伐採及造材
ヲ致シテ、出來マシタ素材ハ之ヲ府縣ノ木
材會社ハ一手ニ集荷ヲスルヤウニシテ、更
ニソレヲ必要ナ所ヘ配給シテ參ルト云フ風
ナ仕組目下動カシテ居リマスノデアリマ
シテ、此ノ度木材統制ノ結果、從來ヨリモ
山ノ木ノ取扱、素材トシテノ取扱ガ集約度
ヲ變ヘタト云フ風ナコトハ萬ナイヤウニ留
意ヲ致シテ參ッテ居ル次第デアリマス、

有難ウゴザイマシタ、經理上ハ造林ガ出來
ルト云フ風ナ御話デゴザイマシタガ、經理
上デナク、實際ニ即シテドウカ造林ガ出來
ルヤウナ風ニ御考慮願ヒタイト思ヒマス、
次ニ伺ヒタイノハ、オ晝前チヨット御質疑ガ
アツタヤウデアリマスガ、現在瓦斯ノ消費量
ガ規正セラレマシテ、其ノ上ニ玄米食ノ獎
勵ト云フコトニナリマス、當然炊事用ノ
燃料ト云フモノガ缺乏シテ參リマス、ソレ
デ只今行ハレテ居ル木炭ノ配給ト云フノハ、
斯ウ云ツヤウナコトヲ豫定ニ入レナイ分
量ダケグラウト思ヒマス、斯ウ云フ風ニ瓦
斯ノ消費ノ規正デアルトカ、玄米食ノ獎勵
デアルトカ云フコトニナリマス、從來ノ
木炭配給量デハ足りナクナルト云フコトハ
當然グラウト思ヒマスガ、之ニ對シテ當局
ニ於カレテハドウ云フヤウナ御考ガアルカ
伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(井出正孝君) 只今東京、大阪
等ノ主トシテ木炭ヲ最モ使ヒマスル消費地方
ニ對シマスル木炭ノ配給基準、木炭ノ中ニ
ハ一部薪炭ニ煉炭、豆炭ト云フ此ノ三ツノ家庭
燃料ヲ綜合的ニ配シテ、家庭燃料ノ配給限
度ヲ決メテ居ルノデアリマスガ、之ノ決メ
マシタ大體基礎的ナ色ヲナ因子カラ考ヘテ
見マスレバ、現在瓦斯ヲ持ッテ居リマスル
家庭ニ對スル木炭ノ配給、或ハ煉炭、豆炭、
薪ガ多少配セラレテ居リマスル、其ノ全體
ノ配給量ハ割合ニ餘裕ガアルノデアリマス、
瓦斯ナシ家庭ニ對シマスル現在ノ配給基準
ハ、是ハ相當ニ現在ノ各種ノ炊事ノ生活程
度カラ見マシテ、是モ多少ハ餘裕ガアリマ
スルガ、瓦斯アリ家庭ヨリハ割合ニ所要量
ガ切詰タ所迄實ハ配給シテ居リマス、デアリ
マスルカラ、現在行ハレテ居リマスル瓦斯

ナシ家庭ニ對スル木炭、薪、煉炭、豆炭ノ
綜合セラレタアノ配給量ハ、是以上壓縮ス
ルコトハ困難ト思フ居リマス、瓦斯アリ家
庭ニ付キマシテハ最近瓦斯ノ消費規正モア
リマシテ、アノ程度ノ假ニ消費ガ規正セラ
レマシテモ、アト残りマシタ家庭ノ利用量
ソレカラ同時ニ木炭、薪、煉炭、豆炭等ガ
配給セラレタアトノ總體ノ家庭燃料ノ熱量
ト云フモノハ、マダソレデモ割合ニ餘裕ガ
アラウカト云フ風ナ考ヲ持ッテ居ルノデア
リマス、而シテ斯ウ云フヤウナ狀態ノ下ニ
アリマシテ、然ラバ今後玄米食ヲ假ニ此
處デ全部ヤラナケレバナラスト云フコトニ
ナツ場合ニドウカト云フ點ハ、私共トシテ
内々研究シテ居ル問題デアリマスルガ、之
ニ付テハ各種ノ試驗機關ニ御願ヒ致シマシ
テ、從來ノオ米ト玄米ノ場合ニ於キマスル
各種燃料ニ依リマス所要ノ増加量ト云フモ
ノヲ今調ベテ戴イテ居リマスガ、マダ十
分ナ結果ガ出マセヌガ、或程度ノ茲ニ燃料
ノ増加ヲ致サナケレバナナイト思フノデ
アリマスルガ、現在配ラレテ居リマスル一
般家庭ノ是等ノ家庭燃料ヲ以テ綜合的ニ賄
ヒ得ルカドウカト云フコトニ付テハ、今少
シ玄米食ニ依ル燃料ノ基礎的ナ所要量ノ調
査ガ出來マシタ上デ考ヘナケレバナナイト
ノデアリマスルガ、先ヅ現在ノ配給セラレ
テ居リマスル家庭燃料ノ範圍ニ於テ、假ニ
玄米食ガ普及セラレマシタ場合ニ於テモ、
一ツ賄ッテ行ッテ賄ハナケレバナナイト云
フ風ニ、私共此ノ家庭燃料ノ木炭、薪等ヲ生
産配給致シテ居リマスル方面カラハ念願ヲ
致シテ居リマス、結局或程度、御承知ノヤ
ウニ家庭燃料ハ厨房用ト採炭用トニ大體分
ケテ或率ヲ考ヘテ居リマスルカラ、結局現

在ノ配給量ヲ是以上殖サスト致シマスレバ、
暖房用ノ部分ヲ今少シ厨房用ノ方ヘ割愛致
シマシテ、採炭ニ付テノ需要ヲ低メルト云
フ風ナコトニ、生活態度ト申シマスカ、様
式ヲ消費層ニ於テ考ヘルト云フ風ナコトニ
願ヒマシテ、各單位ノ配給量ハ之ヲ餘リ殖
スヤウナコトニナラナイヤウニ致シタイト
云フ氣持ヲ持ッテ居リマス

○子爵本多忠晃君 夏ノ木炭ナンカノ配給
ハ大變少イヤウデアリマスガ、配給ノナイ
月モアルト思ヒマスガ、サウ云ツヤウナ時
ニ瓦斯ガナイ、木炭モナイト云フ場合ニ於
ケル炊事用ノ燃料ト云フコトニ對シテハ、
ドウ云フヤウナ御考ヲ御持チニナツテ居リ
マスカ

○政府委員(井出正孝君) 木炭、薪ニ付キ
マスル家庭燃料ノ配給ハ御案内ノヤウニ、
實ハ一年ヲ通ジテ各家庭ノ消費量ニ對シテ
配給致シテ居ルノデアリマス、或月ニ配給
致シマシタ木炭ナリ薪或ハ煉炭ハ、實ハ其
ノ月ニ必ズ使ッテ宜イト云フ意味デナシニ配
給致シテ居ルノデアリマス、或家庭ニ年ニ
假ニ十俵配給スルト云フコトニナツテ居リマ
スレバ、其ノ十俵ヲ月々ニ配給致シマスノ
ハ、成ルベク需要最盛期ニ近イ所デ配リタ
イノデアリマスルガ、輸送、生産等ノ關係
カラ、需要ノ比較的旺盛デナイ夏ニモ配ル
ト云フ風ナコトヲ致シマシテ、季節的ニ調
節致シマシテ、例ヘバ十俵ノ炭ヲ一年デ十
箇月ニ配ッテ居ル、從ヒマシテ十俵ノ炭ノ行
ク家庭ニハ、一年ノ中ノ二月份ハ配給ノナ
イ月モ出テ參リマス、出テ參リマスガ、其
ノ配給ノナイ月ニハ炭ヲ使ハナイデ宜シイ
ト云フ意味デ配ラナイノデハナクシテ、其
ノ前後ニ配リマシタ炭ニ依リマシテ、一

年間ノ消費ヲ各消費者ニ於テ調節シテ使フ
ヤウニト云フ意味デ配ッテ居ルノデアリマス、
大體配リ方ハ消費ノ關係カラ申シマスレ
バ、消費セラルベキ月ノ一月或ハ二月前ニ
其ノ月ノ分ヲ配ルト云フヤウナ行キ方ヲ致
シテ居ルノデアリマス、デアリマスルカラ、
例ヘバ或月ニ炭ヲ配給ガ一月遅レタト云フ
場合ニ於キマシテモ、實ハ其ノ遅レタ月ノ
炭ハ其ノ前ノ月ニ配ッテアルト云フ風ノ關係
ノコトガ間々アルノデアリマシテ、從ヒマ
シテ一年ヲ通ジテ、其ノ家庭々々ニ於キマ
スル要消費量ノ全量ヲ考ヘマシテ分ケテ
配ッテ居ルヤウナ狀態デアリマ

中ニハ各道府縣ニ十分ニ手配ヲ致サセル積
リデアリマス、其ノ際ニハ、同時ニ、各道
府縣ハ、同時ニ町村ニ何ガシト云フ數量ヲ
割當テルバカリデナシニ、ソレヲ伐採スベ
キ林分ヲモ具體的ニ決メサセル豫定デ居リ
マス、是ハ目下各道府縣ニ於テソレノ手配
ヲ進行中ナンデアリマス、サウ致シマシテ
各町村毎ニ本年伐採セラルベキ民有林ノ林
分ガ決リマス、處ガ其ノ中デ、道府縣ハ更
ニ地方事務所ヲ督勵致シマシテ、其ノ林
分ノ中デ人工 造林地ニ對シマシテハ、現
在ノ處四圍ト考ヘテ居リマス、ソレカラ天
然林ニ於キマシテハ、一圓二十錢ト云フヨ
リモ安イ立木價格：：是ハ一石デアリマス
ルガ、一石ノ素材トシテノ價格ガ只今申シマ
シタ價格ヨリモ引ッ込ム安イ林分、即チ不經
濟林分ヲ更ニ箇所々々ニ付テ選定ヲ致サセ
テ置ク積リデ居リマス、從ヒマシテ、サウ云フ
ヤウナ不採算林分カラドレダケ材木ヲ伐リ
出サナケレバナラスト云フコトガソレデ分
ル譯デアリマス、其ノ分リマシタモノニ依リ
マシテ、今度ハ其處ノ關係ノ立木ノ所有者ニ
對シマシテ、其ノ立木ヲ縣ノ木材會社或ハ縣
ノ木材會社ノ指示ノ下ニ立木ヲ伐採致シマ
スル素材生産業者ニ賣ルヤウニト云フ勸誘ガ
致サレマス譯デアリマス、其ノ勸誘ニ應ジマ
シテ、立木所有者ハ之ヲ賣リマス譯デアリ
マスガ、其ノ際ニ於テ其ノ立木ノ評價ヲ、
更ニ立木評價委員會ト云フヤウナモノヲ作ッ
テ、大體地方事務所毎ニソレヲ置キマシテ、
評價ヲ致スコトニ致シマシテ、其ノ評價ニ
依リマシテ決メラレタ價格ト申シマスカ、
ソレヨリハ評價委員會ニ於キマシテ、實際
立木ヲ伐採シマシテ、木材ニシマシタ場合
ニ於ケル諸掛費毎ニ清算ヲ致シマシテ、サ

○柴田兵一君 先程山林局長ノ御答辯ニ
アリマシタガ、一千萬圓ノ木材増産獎勵金
ノ交付方法ニ付テ具體的ニ御説明ヲ煩シタ
イト思ヒマス

○政府委員(井出正孝君) 只今御尋ノ今回
十七年度及十八年度ノ追加豫算ヲ以テマシ
テ御願ヲ致シテ居リマスル木材ノ臨時増産
ヲ強化致シマス爲ノ補助金ノ交付ノ大體ノ
仕組ヲ申上ゲタイト思ヒマス、是ハ先程モ
申上ゲマシタヤウニ、從來市場逆算カラ來
マス爲ニ、立木ノ價格ガ不引合ノ所謂不採
算ノ林分ノ立木ヲ、此ノ際木材ニ生産シ得
ルヤウニ、價格ヲ調節スルト云フ目的デ交
付サレルコトニナル譯デアリマス、是ハ先
ヅ第一、農林省ニ於キマシテ各道府縣ニ對
シテ、十八年度ニ於キマシテ各道府縣毎ニ
民有林關係カラ生産ヲ致サルベキ木材ノ生
産量ヲ割當ヲ致ス譯デアリマス、此ノ割當
ヲ各道府縣ガ引受ケマシテ、實行致シマス
爲ニ、各道府縣ハ更ニ之ヲ各市町村毎ニ更ニ
其ノ林力、森林ノ狀態等ヲ見計ラヒマシテ割
當ヲ致スノデアリマス、之ヲ大體本年三月

立木ヲ伐採シマシテ、木材ニシマシタ場合
ニ於ケル諸掛費毎ニ清算ヲ致シマシテ、サ

ウシテ實際最後ニ殘ル立木價格ト云フモノ
ヲ評價委員會ガ評定スルコトニナッテ居ル、
ソレデ出來マシタ立木價格ガ、今申シマシ
タ基準ノ金額ト差額ガアリマスレバ、其ノ
差額ヲ森林所有者ニ補助金トシテ交付シテ
ヤル、斯ウ云フヤウナ仕組デ行キタイ積リ
デ居リマス、又是等ノ不採算林分ノ立木ガ、
手取り早ク賣渡サレ、又伐木、造材ガ致
サレマス爲ニ、斯様ニ初メニ立木ノ賣渡ノ
勸奨ガアッテ、立木所有者ガ賣ラウト云フコ
トニナリマスレバ、其ノ際ニ木材會社、素
材生産業者ハ、或程度ノ概算拂ラ立木所有
者ニ致スコトニナッテ居リマス、サウシテ今
申シマシタヤウニ、更ニ價格ノ委員會ニ於
キマシテ、其ノ立木ノ伐採、搬出等ノ諸掛
費ヲ一定ノ立木ノ市價カラ差引清算シマシ
テ、其ノ價格ヲ今ノヤウナ尺度ニ依ッテヤッ
テ參ル、斯ウ云フコトデアリマス、又同様
ニ斯ウ云フヤウナ不採算林分ニ於ケル立木
所有者ガ、自分デ山ノ其ノ立木ヲ伐採シ
テ、伐採、造材ヲ致シマシタ場合、又其ノ
立木所有者ガ森林組合ニ依ッテ素材生産ヲ
致シマシタ場合ニ於キマシテモ、其ノ生産
セラレマシタ立木ガ、當然是ハ府縣ノ木材
會社ヘ賣渡サレ建前ニナッテ居リマスカ
ラ、賣渡サレマシタ場合ニ於キマシテハ、
其ノ價格カラ矢張り同様ナ方式ニ依ッテ逆
算シマシテ、立木代金ト申シマス、此ノ
場合ハ立木ノ素材價格ガ、今ノヤウナ尺
度ニ比較シマシテ安イ場合ニ於キマシテハ、
是亦同様ニ此ノ助成金ニ依ッテ其ノ價格差
ヲ補助シテ參ル、斯様ナ仕組ヲ大體ニ於テ
考ヘテ居リマス

○柴田兵一郎君 只今承リマスト人工造林
ニ對シテハ四圓、天然林ニ對シテハ一圓二

十錢ト云フコトデアリマスガ、此ノ算定ノ
根據ヲ伺ヒタイト思ヒマス
○政府委員(井出正孝君) 大體此ノ考ヘ方
ハ人工造林地ニ付キマシテハ、之ヲ或程度
ノマア伐期ヲ豫定致シマシテ、ソレ迄ニ掛
リマシタ造林上ノ總テノ生産費カラ申シマ
シテ、四圓程度ハドウシテモ見テヤラナケ
レバナラナカラウト云フ計算ヲ致シテ居ル
ノデアリマス、即チ當初カラノ植栽費及ビ
其ノ後ノ撫育費及ビ是等ノ費用、投下サレ
タ費用ニ致シマスル或程度ノ利子ト云フモ
ノヲ加算シマシテ、或標準伐期ヲ考ヘマシ
テ、ソレ迄ノ一切ノ是等ノ造林ノ實費ト云
フモノヲ此處等ニ押ヘタ譯デアリマス、ソ
レカラ天然林ニ付キマシテハ、斯様ナ所謂
生産ニ掛リマシタ實費ト云フモノガ押ヘ難
イノデアリマス、ソコデ之ニ對シマシテハ、
今後其ノ天然林ガ伐採セラレマシタ跡ヲ、
何レハハ人工エヲ加ヘマシテ、純然タル造林
地ニ致シマス場合モアリマセウシ、又半バ
天然更新ノナ操作ヲ加ヘタ造林地ニ致シマ
スルモノモアリマセウガ、又ソコヲノ所ヲ
色々ナ因子ヲ採リマシテ、中間ヲ採ッテ見マ
シテ、今後斯ウ云フヤウナ天然林ニ付キマ
シテ、跡ニ差當テ造林ヲ致シマス、即チ造
林ニ關シマスル再生産費ト申シマスルカ、
サウ云フ風ナモノヲ取敢ズドノ位見タラ宜
カラウカト云フコトノ、考ヘ方カラ計算致
シマシテ出マシタノガ、石當リ一圓二十錢
ト云フ風ナコトニ考ヘタ譯デアリマス

○柴田兵一郎君 其ノ程度ノ助成金デ、何
石位ノ増産ヲ御見込ニナッテ居ラレマスカ
○政府委員(井出正孝君) 斯様ナ限度ニ於
キマシテ交付セラレマス助成金ヲ、大體斯
ウ云フ風ナ林分カラ一石當リ一圓ト考ヘマ

シテ、一千萬石ト十八年度ニ於テ考ヘ、十
七年度ニ於テ斯様ニシテ特ニ生産セラレマ
スモノヲ、五十萬石合セマシテ、一千五十
萬石程度ト考ヘテ居ル譯デアリマス

○委員長(伯爵黒木三次君) 他ニ御質疑モ
ゴザイマセヌカ、御質疑モゴザイマセヌヤ
ウデゴザイマスカラ、此ノ木炭需給調節特
別會計法中改正法律案ノ質疑ヲ此ノアタリ
デ打切りタイト存ジマス、而シテ是ハ討論
採決ノ表決ヲ致シタイト思ヒマスルガ、本
委員會ニマダ付託セラレタル團體法案ガ參
リマセヌノデ、ソレハ多分二十日ニ衆議院
ニ上程セラレテ、コチラニ參リマスノハ二
十二日ダラウト存ジマスカラ、ソレ迄此ノ
儘ニシテ置キタイト思ヒマスガ如何デアリ
マスカ

○松本學君 質疑ヲ續ケテ居リマスガ、午
前中ニモドナタカラカ食糧問題ニ付テ質疑
ガアリ、木材問題ニシマシテモ、薪炭問題
ニシテモ、マダ肚ヲ打割ッテ質疑モアリマセ
ウシ、承リタイコトモアルト思フノデ、ソ
レデ團體法案デモコチラニ來マシテカララ
モ宜シウゴザイマスガ、是ハ委員長ニ御相
談申スノデスガ、適當ナ時機ニ懇談會ノヤ
ウナ形デ、大臣ニ午前デモ午後デモ出テ戴
キ、サウシテ委員ハ全部出マシテ、速記ヲ
止メテ、肚ヲ割ッテ御話合ラシテ行クト云フ
ヤウナコトニ願ヘナイカト思ヒマス、實ハ
時局非常ニ重大デ、唯質疑ヲ申上ゲテ、御
答辯下サルノガ理窟ニハ能ク合ヒ、筋道ハ
能ク通ッテ御答辯ガアルノデスガ、實情ヲ申
上ゲテ、ソレデハドウ云フ風ニ之ヲ對處シ
テ行クカ、大東亞戰爭ニ勝ッニハ是ハ何ヲ措
イテモ増産ヨリナイノデ、然ルニ今日ノ現
狀ヲ見マスルト、増産ガナカノ出來ナイト

云フ狀態デ、何處ニ之ヲ阻止スル原因ガア
ルノカドウカ、サウ云フコトニ付テノ實情
ヲ、專門ノ委員ノ方モ大分澤山居ラレルヤ
ウデアリマスカラ、率直ニ御話ヲ申シ、政府
ノ方カラ率直ニ一ツ御話ヲ承ッテ、唯通り
一遍ト言ッテハ甚ダ言葉ガ惡イデスケレド
モ、昔ノ時代ニ議會デヤリマシタ質疑應答
ノ形式ト云フヤウナコトデナシニ、肚ヲ割ッ
テ懇談會ヲヤッテ戴イタラ宜イデヤナイカ
ト私ハ思ヒマス、ドウカ委員長ガ若シ私ノ
申スコトニ御賛意下サルナラバ、御考ヲ願
ヒタイト思ヒマス

○委員長(伯爵黒木三次君) 委員長カラ申
上ゲマス、委員長ノ考ト致シマシテモ、今
松本サンノ仰シヤイマス御意見ニ全ク御同
感致シテ居リマス、サウシテ是ハ先般チヨッ
ト御話ガアリマシタヤウニ、團體法案ガ參
リマス、一週間位ノ間ハドウシテモ大臣
ニ來テ貰ヒタイト、斯様ニ思ッテ居リマス
カラ、リマシタ劈頭ニ於キマシテ、總テノ
モノヲ、團體法案ト言ハズ、木材需給調節
ト言ハズ、何モカモ打チクルメテ、一ツ此
處ノ我々ガ殆ド森林關係ノ法案ヲ受持ッテ
居リマスノデ、農林省ノ隔意ノナイ、ソレコ
ソハ肚ヲ割ッテノ御話ヲ承リマシテ、我々モ
納得ヲ致シタイ、斯様ニ思ッテ居リマス
カラ、其ノ手順ハヨク大臣ノ方ニモ通ジマシ
テ、月曜日ニ一日サウ云フモノニ當テタ
イ……

○松本學君 二十二日デスカ
○委員長(伯爵黒木三次君) 二十二日デゴ
ザイマス、斯様ニ思ッテ居リマス、左様御承
知ヲ願ヒタイト思ヒマス

○松本學君 其ノ時ニハドウカ委員ノ方全
部御出席ヲ願フコトニ致シマシテ……

○委員長(伯爵黒木三次君) 其ノ際委員ノ方ニモ全部通告ヲ致サセマス

○松本學君 ソレカラ委員長ノ方カラ議事ノ進行ノコトデ、例ヘバ食糧問題ニ付テ是カラ懇談スル、今度ハ木炭ト云フ風ニ一ツヤツテ戴キマスレバ、大變話ガシヨイノデハナイカト思ヒマス、専門ノ方ガ相當イラッシヤイマスカラ、色々御意見モアラウト思ヒマスカラ、委員長ノ方カラドウゾ御取計ラヒ願ヒマス

○委員長(伯爵黒木三次君) 承知致シマシタ、左様ニ取計ラヒマス、二十二日トハ或ハ御約束出來ナイカモ知レマセス、チヨット話ヲ聞キマス、團體法案ガ少シ遅レルカモ知レナイト云フコトデアリマスカラ、兎ニ角劈頭サウ云フコトヲ致シテ、順々ニ懇談スル、團體法案カラサウ云フ風ニシテ行ツタ方ガ、法案ガ大キウゴザイマシ、議案ノ審議上都合ガ宜シイト、斯様ニ思ヒマスカラ、サウ云フ風ニ取計ラヒマス、デハ今日ハ此ノ程度デ散會致シマス、次會ハ彙報ヲ以テ御報告申上ゲマス

午後二時三十四分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵黒木 三次君
副委員長 男爵稻田 昌植君
委員

公爵一條 實孝君
公爵山縣 有道君
侯爵池田 宣政君
子爵松平 保男君
子爵土岐 章君
子爵本多 忠晃君
入江 貫一君
三井清一郎君

男爵三須 精一君
男爵坊城 俊賢君
男爵西 酉乙君
宮田 光雄君

赤池 濃君

松本 學君

千石興太郎君

吉村友之進君

塩田 國平君

米原 章三君

柴田兵一郎君

石黒 忠篤君

國務大臣

農林大臣 井野 碩哉君

政府委員

農林省山林局長 井出 正孝君

食糧管理局長官 湯河 元威君